

平成24年度第3回 CCC 電気通信工学グループ運営委員会議事概要

I. 日時： 平成24年9月1日（土） 13時30分から15時40分まで

II. 場所： 公益社団法人私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者： 玉野委員、小林委員

（事務局）井端事務局長、森下主幹、野本職員

IV. 議事概要

1. 検討内容

大学教育への提言報告書「未知の時代を切り拓く教育と ICT 活用」の2章 第1節に分野別の「学士力の到達目標」を記述する。その背景を記述するための議論を行い、「電気通信工学教育における学士力の考察について」の作成を行った。

- ・ その作成に当たり、まず、作成された案を読み合わせ、内容に関する説明がなされた。背景の部分では到達目標については言及せず、背景認識を整理して記述することとした。以下に委員の意見から背景認識を列挙する。
- ・ 社会と産業技術の基盤を担っている工学であり、広い範囲の産業を支える人材を育成する教育が求められており、社会の発展のための提案ができる人材を育成できる必要がある。
- ・ 自然環境・社会環境との調和が求められている。
- ・ 様々な学問分野との融合が必要である。
- ・ 自然科学、社会科学、人文科学からの知見を総合して、何を生み出すかを自らが考え、新技術・新システムの開拓に結びつけることが求められている。
- ・ 電気通信工学分野は、その分野内の融合に加え、エネルギー・機械・建築・化学・医療の分野やサービス分野・デザイン芸術分野とも連携することで、社会に新しい枠組みを提供し、20世紀に果たした大きな役割を更に超える貢献を期待できる分野である。
- ・ この分野は最もグローバル化が進展している分野の一つである。
- ・ 電気通信工学が社会でどのような役割を果たしているのかが学生に十分には理解されていないくらいがあり、この分野に立ち向かう意欲を持たせる必要があるとの認識が示された。この観点から、一方、電気通信工学分野がどのようなものであるか、その魅力と重要性が十分に理解されていないくらいがあるが、未来を切り拓くリーディング分野として囑望されていることを理解させる必要がある。の文章を追加した。

V. 次回の予定

- ・ 教育改善モデルの授業の仕組み部分を説明する解説図を作成する。
- ・ 委員会の予定：平成23年9月29日（土） 13時30分から15時30分まで。